

令和 2 年 度

仙台市水道事業会計

決算説明資料

- 1 決算の概況
- 2 事業実績表
- 3 予算決算比較表
- 4 建設改良事業の概要

仙台市水道局

1. 決算の概況

本年度の水道事業は、「仙台市水道事業中期経営計画（令和2年度～令和6年度）」の初年度にあたり、計画に掲げる事業を着実に推進し、水道システムの最適化、持続可能な経営、関係者との連携強化に取り組みながら、お客さまが実感できる良好な水質の実現と水道水の安定供給に努めてまいりました。

事業実績につきましては、年間総配水量が1億2,152万1千立方メートル、前年度比173万6千立方メートル（1.4%）増、年間有収水量が1億1,468万9千立方メートル、前年度比166万8千立方メートル（1.5%）増となり、有収率は前年度と同率の94.4%となりました。

経営面につきましては、今後10年間の事業運営方針として策定した「仙台市水道事業基本計画（令和2年度～令和11年度）」に基づき、アセットマネジメントの推進など、持続可能な経営基盤の強化に向けた取り組みを進めてまいりました。

次に、建設改良事業につきましては、配水管整備事業で、基幹管路の新設工事や配水支管の更新工事などを行い、事業費57億8千1百万円を支出し、配水管延べ34,283メートルを布設しました。また、施設整備事業では、茂庭浄水場濃縮槽・汚泥貯留槽耐震補強工事や青葉山隧道上口管理橋耐震補強工事等の災害対策関連事業を行ったほか、中原浄水場系監視カメラ新設・更新工事等の安全対策関連事業などを行い、事業費26億8千4百万円を支出しました。

財政状況につきましては、収益的収支（消費税及び地方消費税抜き）において、総収益265億2千3百万円に対し、総費用237億6千5百万円で、差引27億5千8百万円の純利益となりました。

以上が決算の概況でございますが、新型コロナウイルス感染症の影響による水需要の動向等を見極めながら、今後も計画的かつ効率的な事業運営による経営基盤の強化やサービスの向上に努めるとともに、災害や事故、感染症への対応など、危機管理上の課題にも的確に対応しつつ、安全で良質な水道水を安定的に供給していくことを通じて、お客さまと地域社会に一層信頼される水道事業を目指してまいります。

2. 事業実績表

区 分 \ 年 度	単 位	令和2年度 (E)	令和元年度 (F)	対前年度比較	
				増減(△減) (E - F)	比率 (E/F)%
計画給水区域内人口 (A)	人	1,066,209	1,064,212	1,997	100.2
給水人口 (B)	人	1,063,272	1,061,155	2,117	100.2
年間総配水量 (C)	m ³	121,521,332	119,785,439	1,735,893	101.4
(仙 台 市 配 水 量)	m ³	(117,019,117)	(115,683,407)	(1,335,710)	(101.2)
(他 市 町 分 水 量)	m ³	(4,502,215)	(4,102,032)	(400,183)	(109.8)
配水能力	m ³ /日	406,570	412,670	△ 6,100	98.5
一日平均配水量	m ³	332,935	327,283	5,652	101.7
一日最大配水量	m ³	366,965	355,652	11,313	103.2
使用給水栓数	栓	470,755	464,799	5,956	101.3
年間有効水量	m ³	117,460,931	115,770,423	1,690,508	101.5
年間有収水量 (D)	m ³	114,689,209	113,020,954	1,668,255	101.5
配水管延長	km	3,524	3,494	30	100.9
職 員 数 (管 理 者 除 く)	人	408	412	△ 4	99.0
普及率 (B/A)	%	99.7	99.7	0.0	-
有収率 (D/C)	%	94.4	94.4	0.0	-

3. 予算決算比較表

(収益的収支)

(単位：千円)

区 分 科 目	令 和 2 年 度 予 算 額					令和2年度	翌 年 度	増 減 額
	当初予算額	補正予算額 (△減)	流用増減額 (△減)	繰 越 額	合 計 (A)	決 算 額 (B)	繰 越 額 (C)	(△減) (B)+(C)-(A)
水道事業収益	30,434,587	△1,757,000	0	0	28,677,587	28,964,259	0	286,672
営業収益	27,164,908	△1,500,000	0	0	25,664,908	25,876,180	0	211,272
給水収益	25,960,613	△1,460,000	0	0	24,500,613	24,717,803	0	217,190
受託工事収益	120,793	0	0	0	120,793	113,311	0	△ 7,482
その他営業収益	1,083,502	△ 40,000	0	0	1,043,502	1,045,066	0	1,564
営業外収益	3,266,967	△ 257,000	0	0	3,009,967	3,083,765	0	73,798
受取利息	3,500	0	0	0	3,500	8,574	0	5,074
不動産賃貸料	32,775	0	0	0	32,775	33,328	0	553
水道加入金	1,365,822	△ 190,000	0	0	1,175,822	1,230,444	0	54,622
他会計補助金	356,713	△ 8,000	0	0	348,713	344,292	0	△ 4,421
国庫補助金	144,479	△ 79,000	0	0	65,479	17,685	0	△ 47,794
長期前受金戻入	1,339,493	0	0	0	1,339,493	1,388,720	0	49,227
雑収益	24,185	20,000	0	0	44,185	60,722	0	16,537
特別利益	2,712	0	0	0	2,712	4,314	0	1,602
固定資産売却益	1	0	0	0	1	0	0	△ 1
過年度損益修正益	2,711	0	0	0	2,711	4,314	0	1,603
水道事業費用	27,869,537	△1,162,607	0	253,139	26,960,069	25,529,463	0	△1,430,606
営業費用	26,331,463	△1,176,000	△ 12,323	253,139	25,396,279	24,007,770	0	△1,388,509
人件費	3,754,512	△ 300,000	131	0	3,454,643	3,216,920	0	△ 237,723
物品費	516,651	△ 184,000	△ 131	356	332,876	271,067	0	△ 61,809
経費	8,357,339	△ 558,000	△ 12,323	252,783	8,039,799	7,162,089	0	△ 877,710
受水費	5,037,319	0	0	0	5,037,319	4,883,730	0	△ 153,589
減価償却費	8,098,067	0	△ 62,341	0	8,035,726	7,978,049	0	△ 57,677
資産減耗費	567,575	△ 134,000	62,341	0	495,916	495,915	0	△ 1
営業外費用	1,463,074	△ 14,000	12,323	0	1,461,397	1,461,392	0	△ 5
支払利息	836,954	△ 14,000	△ 1,056	0	821,898	821,895	0	△ 3
消費税及び	622,120	0	16,479	0	638,599	638,598	0	△ 1
地方消費税	4,000	0	△ 3,100	0	900	899	0	△ 1
雑支出	4,000	0	△ 3,100	0	900	899	0	△ 1
特別損失	45,000	27,393	0	0	72,393	60,301	0	△ 12,092
過年度損益修正損	45,000	0	△ 454	0	44,546	32,456	0	△ 12,090
その他特別損失	0	27,393	13	0	27,406	27,405	0	△ 1
固定資産売却損	0	0	441	0	441	440	0	△ 1
予備費	30,000	0	0	0	30,000	0	0	△ 30,000
当年度純損益(税込み)	2,565,050	△ 594,393	—	△ 253,139	1,717,518	3,434,796	0	1,717,278
当年度純損益(税抜き)	1,915,148	△ 524,939	—	△ 230,127	1,160,082	2,758,103	0	1,598,021
繰越利益剰余金 (△繰越欠損金)	0	0	—	—	0	0	—	—
その他 未処分利益剰余金変動額	0	2,796,501	—	—	2,796,501	2,796,501	—	—
未処分利益剰余金 (△未処理欠損金)	1,915,148	2,271,562	—	△ 230,127	3,956,583	5,554,604	0	1,598,021

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。ただし、当年度純損益(税抜き)、繰越利益剰余金、その他未処分利益剰余金変動額及び未処分利益剰余金については、消費税及び地方消費税抜きの額である。

※ その他未処分利益剰余金変動額は、建設改良積立金の使用によって発生する未処分利益剰余金の額である。

(資本的収支)

(単位：千円)

区 分 科 目	令和2年度 予 算 額					令和2年度 決 算 額 (B)	翌 年 度 繰 越 額 (C)	増 減 額 (△ 減) (B)+(C)-(A)
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額 (△ 減)	流用増減額	繰 越 額	合 計 (A)			
水道事業資本的収入	5,417,193	△ 346,000	0	1,954,399	7,025,592	4,712,442	1,662,817	△ 650,333
企 業 債	3,400,000	△ 400,000	0	1,660,000	4,660,000	2,680,000	1,370,000	△ 610,000
固定資産売却代金	8,031	0	0	0	8,031	6,710	0	△ 1,321
出 資 金	893,384	△ 57,000	0	69,742	906,126	855,438	31,710	△ 18,978
国 庫 補 助 金	629,851	△ 55,000	0	224,657	799,508	632,675	150,539	△ 16,294
開 発 負 担 金	273,142	100,000	0	0	373,142	373,607	0	465
負 担 金	189,931	46,000	0	0	235,931	116,130	110,568	△ 9,233
その他資本的収入	22,854	20,000	0	0	42,854	47,882	0	5,028
水道事業資本的支出	19,009,426	△1,767,000	0	2,843,075	20,085,501	14,803,879	3,462,146	△1,819,476
建設改良費	12,710,921	△1,668,000	0	2,843,075	13,885,996	8,604,376	3,462,146	△1,819,474
配水管整備事業費	8,018,296	△1,082,000	0	2,290,678	9,226,974	5,780,903	2,274,782	△1,171,289
施設整備事業費	4,228,247	△ 469,000	0	547,277	4,306,524	2,683,955	1,094,968	△ 527,601
受託等工事費	464,378	△ 117,000	0	5,120	352,498	139,518	92,396	△ 120,584
企業債償還金	6,298,505	△ 99,000	0	0	6,199,505	6,199,503	0	△ 2
差 引	△ 13,592,233	1,421,000	0	△ 888,676	△13,059,909	△10,091,437	△1,799,329	1,169,143
補てん財源	21,397,337	△ 659,964	0	658,549	21,395,922	20,948,931	1,799,329	1,352,338
消費税及び地方消費税 資本的収支調整額	1,066,801	△ 162,418	0	254,459	1,158,842	676,693	314,741	△ 167,408
損益勘定留保資金	7,039,678	27,393	0	634,217	7,701,288	6,138,425	1,484,588	△ 78,275
建設改良積立金	0	2,796,501	0	0	2,796,501	2,796,501	0	0
当年度純損益	1,915,148	△ 524,939	0	△ 230,127	1,160,082	2,758,103	0	1,598,021
前年度繰越金	11,375,710	△2,796,501	0	0	8,579,209	8,579,209	0	0
当年度末資金剰余額	7,805,104	761,036	0	△ 230,127	8,336,013	10,857,494	0	2,521,481

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。ただし、補てん財源及び当年度末資金剰余額については、消費税及び地方消費税抜きの額である。

○資金不足比率

(単位：千円，%)

資金不足額 (A)	事業規模(※) (B)	資金不足比率 (A)/(B)
0	23,438,533	-

※事業規模＝営業収益－受託工事収益（消費税及び地方消費税抜き）

○未処分利益剰余金の処分（案）について

未処分利益剰余金5,554,604千円については、2,796,501千円を資本金に組み入れ、2,758,103千円を建設改良積立金に積み立てる。

4. 建設改良事業の概要

(単位：千円)

事業名	令和2年度 事業費	主たる事業
配水管整備事業	5,780,903	<p>【基幹管路の更新・耐震化推進】</p> <p>基幹管路更新 ・将監大沢送水管</p> <p>基幹管路新設 ・国見第二配水幹線 ・白沢湯元送水管</p> <p>【配水支管の更新・耐震化推進】</p> <p>配水支管更新 ・福田町南一丁目地内 ・鶴代町地内 ほか</p> <p>配水支管新設 ・折立一・二・三丁目地内 ・南鍛冶町地内 ほか</p> <p style="text-align: right;">総整備延長 34,283.2 m</p>
施設整備事業	2,683,955	<p>【災害対策関連】</p> <p>施設耐震化等 ・茂庭浄水場濃縮槽・汚泥貯留槽耐震補強工事 ・青葉山隧道上口管理橋耐震補強工事 ほか</p> <p>配水機能強化 ・茂庭配水幹線不断水仕切弁設置工事 ・配水ブロック拡充再編関連工事(福田町地区) ほか</p> <p>長期停電対策 ・非常用自家発電設備更新工事(住吉台送水ポンプ場 等)</p> <p>災害時給水機能拡充 ・災害時給水栓設置工事(市立小・中学校15校)</p> <p>【安全対策関連】</p> <p>・中原浄水場系監視カメラ等新設・更新工事 ほか</p>
受託等工事	139,518	<p>【配水管等移設工事】</p> <p>・国道45号電線共同溝設置に伴う配水支管移設工事</p>
計	8,604,376	

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。